

市ではまちづくりの理念の一つに「協働のまちづくり」を掲げています。現在、いろいろな場面で多くの団体が関わり、協働して活動に取り組んでいます。今回はその一例を紹介します。

被災地支援の取り組み

本市に本部がある「認定NPO法人 日本セラピューティック・ケア協会」は、日本各地の病院や福祉施設、被災地などでセラピューティック・ケアを行っています。セラピューティック・ケアとは、薬剤や道具を使用せず、洋服を着たまま、両手の温もりだけで行える心身のケア法です。

これまでに、東日本大震災や熊本地震、九州北部豪雨災害などにおいて、避難所や仮設住宅を訪問し、被災者本人だけでなく自治体職員や医療関係者などへ施術を行い、ケアを行ってきました。

また、太宰府市NPO・ボランティア支援センター「うめさろん」と連携してチャリティイベントを企画し、集まった寄付金を被災地へ届けました。

※「うめさろん」では、NPO・ボランティア団体などさまざまな団体の相談を受け付けています。



◀市役所玄関前広場でのチャリティイベントの様子



被災地での支援活動▶



問い合わせ 地域コミュニティ課(☎内線543)

3月3日(日) 太宰府南小校区 『防災訓練・ダーツ大会』

太宰府南小校区自治協議会では、災害時の炊き出し訓練とダーツ大会を行いました。この事業は校区で災害時に大人数の炊き出し食を準備する訓練とダーツ大会を併せて毎年行っています。

ダーツ大会では、地域の小学校や高校も含め、33チームの参加があり、6パートに分かれて順位を競いました。また、炊き出し訓練では、200人分のおにぎりとお汁を作り、参加者に配布しました。さらに、太宰府消防署員による救命講習体験も行われ、競技の空き時間に多くの人が指導を受けました。



3月10日(日) 国分小校区 『ペタンク大会』

国分小校区の「ペタンク大会」は、雨天のため国分小学校体育館での「スポーツ大会」開催となりました。輪投げやダーツ、五目お手玉で地域の皆さんの世代間交流を深めるとともに、その後の玉入れ競技では小さな子どもからお年寄りまで大いに盛り上がりました。

雨天によりペタンク大会は中止となりましたが、スポーツをとおして身体を動かすことで皆さんの健康づくりにもつながりました。



雨天のため、体育館でスポーツ大会開催

※4月の校区自治協議会イベント情報はありません。